



◎産地情報 ◎イ草植え付け最盛期に

くまもと産地では、イ草農家が令和3年産植え付け最盛期のピークを迎えているとの話を伺った。

「今年の秋は晴天が多く、草準備や型付け(写真①)が捗り、恵まれていた。

今回、実は新しい挑戦をして今のところうまくできている。それ、昨年対比、イ草苗の新芽(写真②)も多く吹かせること。八月草栽培方法を変えることで新芽が明らかに多くなる。

本田植え付け後(写真⑤)で活着がより好良となり、良いイ草が収穫されることが期待できる。

まずは真、直ぐ植えることが(写真③④)が重要。

しっかりと管理して、お客様に喜ばれるような質表も作りたい。

